



金融・経済危機と国際連帯税

さとう かつひこ
佐藤 克彦

PSIアジア太平洋地域事務所・所長

世界的な金融・経済危機が続く中で、労働組合の集まりではその対策がどこでも運動の最優先課題になっている。PSIも勿論これについてさまざまな議論を行い、このような時こそ「公共サービスへの投資」が必要であり、社会的セーフティネットやインフラストラクチャーの拡充が優先されるべきであると主張してきた。同時に、先進国はこの危機を口実に、最悪の打撃を受けている最貧国への支援を削減してはならず、ミレニアム開発目標(MDG)の達成を遅らせてはならないと強調してきた。

金融・経済危機はマスコミや論壇の潮流にも大きな変化をもたらし、小泉劇場で踊っていた市場原理主義者たちの旗色が悪くなり、かつての主張の誤りを認める著名な経済学者まで現れている。そして、危機の原因や背景を探るさまざまな調査やメディア取材などを通して、企業の救済措置を求めるウォール街のCEOが巨額の報酬を受け取ったり、实体经济からかけ離れたカジノ経済の中で、普通の労働者には想像もつかない膨大なマネーが世界中を動き回っていることが明らかになってきた。

この間に起こった基本的な変化のひとつは、巨万の富が極めて少数の人たちによって独占され、

中間層は崩壊し、おびただしい数の貧困者を生み出したことである。これによって一国内での格差が拡大するとともに、先進国と途上国、とりわけ最貧国との格差もますます拡大しつつある。また、金融の自由化や規制緩和はモラルハザードを招き、暴走するマネーはもはや一国の政府や中央銀行の政策でコントロールすることさえ困難になっている。

今回の危機によって、グローバル化の流れが止まるとか後退するという事は、現実的に考えられない。いま必要なことは、グローバル化の負の要素を改めたりコントロールしたりできる、有効なグローバル・ガバナンスの仕組みを急いで構築することであろう。そのための基本的な枠組みは、国内および国際的な社会的対話と再分配システムではないだろうか。

ホワイトハウスとウォール街の回転ドアを行き来するような政治システム、莫大な収入を得ながら脱税を許すような税システム、非正規労働者に労働基本権を与えないような労使関係システム、地球環境よりも経済成長が優先されるような経済・社会システムは、一日も早く変えていかなければならないと思う。

このような中でPSIがいま取り組み始めたの



は、国際連帯税に関するアドボカシーである。国際連帯税は2005年1月の世界経済フォーラムで、フランスのジャック・シラク大統領が最初に提唱したと言われているが、その源流にあるのは1972年にジェームズ・トービン教授が提案した通貨取引税（トービン税）と、2002年に国連開発資金国際会議で議論された革新的資金メカニズムである。これらの提案は、世界的金融危機の中で、いかにして金融市場を規制するか、MDG達成のための資金をどう確保するか、という二つの課題を同時に解決する具体的手法の一つとして注目されている。

通貨取引税は投機的取引を抑制するために考え出されたものだが、1994年、国連開発計画（UNDP）は途上国の貧困対策にこの税収を充てることを提案した。試算では0.05%の課税で年間1,500億ドルの税収が可能といわれている。革新的資金メカニズムについては、2006年7月にフランスが航空券税をスタートさせ、HIVエイズ、結核、マラリアなどの感染症対策用医療品購入に充てられている。航空券税以外にも、炭素税、放射性物質製造税、インターネット税、武器売上税などが検討されている。

私たちはこれが、先に述べたグローバル・ガバ

ナンスの基本的枠組みにとって有意義な提案であると考えており、これに取り組んでいるさまざまなNGOと協力しながら、PSIとしての運動を発展させていく方針である。具体的にはアジア太平洋地域での「国際連帯税ゾーン」設立を目指して行きたい。これは、アジア太平洋地域での開発と気候変動対策資金を調達するために、協同して国際連帯税を実現しようとするもので、まずは同地域の全ての国を「連帯税に関するリーディング・グループ」に参加させるとともに、「航空券税ゾーン」と「通貨取引開発税ゾーン」に取り込んでいこうと考えている。

このような仕組みを実現するためには、主要先進国の参加とリーダーシップが不可欠である。アメリカはまだ参加していないものの、リーディング・グループには、フランス、ドイツ、イギリス、イタリアなどの欧州諸国、日本を含めたアジア、アフリカ、中南米の55カ国が既に参加している。PSIとしてもこの運動をアジア太平洋から世界に広め、他のGUFやITUCにも呼びかけて、国際労働運動の共通の取り組みにできることを願っている。日本の労働組合には是非そのリーダーシップを発揮して欲しい。